

情 報 公 開 文 書

研究の名称	乳児血管腫および毛細血管奇形の発症関連要因の研究（エコチル調査）
整理番号	
研究機関の名称	国立大学法人 富山大学
研究責任者	富山大学 学術研究部医学系・皮膚科学講座 三澤恵
研究の概要	【研究対象者】 エコチル調査参加に同意された方とお子さま 10 万人 【研究の目的・意義】 毛細血管奇形は、生まれつきある平坦な赤いあざで、原則として大人になっても自然に消失することはない。また、成長とともに体が大きくなるのに比例してあざの面積も拡大する。乳児血管腫は、生まれて数日～数週間後から徐々に出現するが、6～12 ヶ月かけて大きさのピークを迎え、その後 5～10 歳で自然消退すると言われている。両者ともはっきりした原因は解明されておらず、また全国規模での調査は行われたことはないため、今回環境省の「子どもの健康と環境に関する全国調査（エコチル調査）」の既存のデータを使って調査を行う。 【研究の方法】 出産前からお子さまが産まれた時点までにご回答いただいた質問票の回答およびカルテから転記した情報を用いて解析します。本研究のために、新たに情報を収集することはありません。 【研究期間】 本学の研究倫理審査によって研究実施の承認を得てから 2023 年(令和 5 年)3 月 31 日まで 【研究結果の公表の方法】 本研究の成果は、関連する学会や学術雑誌で発表されます。 なお本研究の実施に際しては、利用する情報からお名前、住所などの個人情報 は削除いたします。研究成果の発表においても個人情報は利用しません。
研究に用いる試料・情報の項目と利用方法（他機関への提供の有無）	児の乳児血管腫および毛細血管奇形の有無、母親の年齢、母親の体格（身長・体重）、母親の教育歴、世帯収入、妊娠中の喫煙、妊娠中の飲酒、母親の就業の有無、母親の既往歴、母親の身体活動強度、不妊治療の有無、母親の出産歴、在胎週数、妊娠中合併症、産科・分娩合併症、多胎の有無、出産時のアプガースコア、児の性別、児の身体異常の有無、児の身長、出生体重
研究に用いる試料・情報を利用する機関及び施設責任者氏名	富山大学学術研究部医学系・公衆衛生学講座 准教授 浜崎 景
研究資料の開示	研究対象者、親族等関係者のご希望により、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書等の研究に関する資料を開示いたします。
試料・情報の管理責任者（研究主機関における研究責任者氏名）	富山大学学術研究部医学系・公衆衛生学講座 准教授 浜崎 景
研究対象者、親族等関係者からの相談等への対応窓口	研究対象者からの除外（試料・情報の利用または他機関への提供の停止を含む）を希望する場合の申し出、研究資料の開示希望及び個人情報の取り扱いに関する相談等について下記の窓口で対応いたします。 電話 076 (415) 8842 FAX 076 (415) 8843 E-mail keihama@med.u-toyama.ac.jp 担当者所属・氏名 富山大学学術研究部医学系・公衆衛生学講座 浜崎 景